

◎栽培履歴を記載し、提出しましょう

フクユタカの特性

Table with 2 columns: 項目 (播種期, 開花期, 成熟期, 主茎長, 主茎節数, 膚色, 熟莢色) and 内容 (6月26日, 8月13日, 11月9日, 73.3cm, 16.5, 淡褐色, 淡褐色)

栽培のポイント

- 1.適期播種 (6月下旬から7月中旬) 播種晩限7月20日頃
2.苗立本数の確保 (8,000株程度/10a)
3.中耕培土の実施 (初生葉節の高さまで2回)
4.開花期以降は干ばつ時に畦間灌水 (特に干ばつ気味の場合は、7~10日ごとに灌水)
5.病害虫の適期防除を必ず行う
6.適期収穫 (茎水分が十分に低下してから)
7.汚損粒の混入防止 (機械収穫作業前に雑草等を除く)

Main cultivation calendar table with columns for months (6-12) and rows for growth stages (生育相), main work (主な作業), and cultivation points (栽培の要点). Includes illustrations of plant growth stages.

◎麦・大豆で農業振興を図ろう

施肥基準

◎大豆専用肥料「まめちゃん」(5-14-14) 使用の場合 (kg/10a)

Fertilization table for 'mamechan' fertilizer showing components (N, P, K) and application rates.

「まめちゃん」は、大豆に必要なN、P、Kをバランス良く配合された肥料。 ※施肥量は土壌の肥力度により増減する。

◎高度化成402(14-10-12)使用の場合 (kg/10a)

Fertilization table for 'heightened 402' fertilizer showing components (N, P, K) and application rates.

※施肥量は土壌の肥力度により増減する。

「密播無中耕無培土栽培」

- 特徴と留意点
・中耕培土作業を省くことができる反面、排水性のよいほ場で、出芽数を確保できる場合に限られる技術
・倒伏しやすくなるため、早播きは避ける。

栽培のポイント(慣行栽培との相違点)

Comparison table between conventional and no-tillage cultivation methods for sowing, row spacing, drainage, and other factors.

標準的栽植密度

標準株数8,000株/10aを確保

Table showing standard planting densities (70cmx17cm, 80cmx15cm, 90cmx13cm) and corresponding plant counts per 10a.

中耕培土

Diagram and text explaining the two-step weeding and soil cultivation process: 一回目 (播種後15日頃) and 二回目 (播種後25日頃).

病害虫防除

農薬散布の際は飛散防止に努めましょう

記載している薬剤の使用基準は令和6年3月31日現在のものであり、今後変更になる場合があるので、使用する際は薬剤のラベルをよく読んで、ラベルの記載内容どおりに使用してください。

必須防除

水和剤・水溶液・乳剤による防除(散布水量:200~300ℓ/10a)

Table of mandatory pest control measures including timing, target pests, and recommended agents.

9月下旬以降もハスモンヨトウ、カメムシ類の発生状況に注意し、発生が増えてきたら確認防除を行う。カメムシ類のうちミナミアオカメムシ、ハスモンヨトウの発生消長については香川県病害虫防除所ホームページで確認できます。

確認防除

Table of confirmation pest control measures for pests like Tanepa, Hasmontow, and Camemushi.

※ハスモンヨトウ対象にディアナSCを散布しているほ場ではシロイチモジヨトウの発生が少ない。

雑草防除 農薬散布の際は飛散防止に努めましょう

防除記録をつけましょう 雑草防除は原則として中耕培土によるが、薬剤を使用する場合は次の基準による。

Table detailing weed control methods, timing, and application rates for various herbicides.

※2 バスタ液剤とザクサ液剤の使用回数は合わせて3回以内である。

Informational graphics for NIOSAI (大豆共済), 共済金 (Mutual Aid), 掛金 (Premium), and 収入保険 (Income Insurance).